### LAN インターフェース製品 IP アドレス初期化の方法

発行日 2018年9月3日 <u>Ver 1.00</u>

### タカヤ株式会社

マニュアル番号: TDR-OTH-LAN\_INITIAL-100

### はじめに

このたびは、弊社製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は、LAN インターフェース製品の IP アドレス初期化の方法について記載しています。

### 目次

第1章	設定ツールと対象機種	1
1.1 1.2	IPSET 対象機種 IPSET2 対象機種	
第2章	IP アドレス初期化手順	4
2.1 2.1.1 2.1.2 2.2	IPSET 対象機種の IP アドレス初期化手順 IP アドレスが把握できている場合 IP アドレスが把握できていない場合 IPSET2 対象機種の IP アドレス初期化手順	
第3章	デフォルト設定と出荷時設定	15
3.1 3.2	IPSET 対象機種のデフォルト設定と出荷時設定一覧 IPSET2 対象機種の出荷時設定一覧	
第4章	付録	
4.1 4.2 4.2.1 4.2.2	PC の IP アドレスを変更する LAN インターフェース基板の通信速度を変更する IPSET 対象機種の場合 IPSET2 対象機種の場合	
変更履	歷	25

### 第1章 設定ツールと対象機種

本章では、LAN インターフェース設定ツールと対象機種について説明します。

#### 1.1 **IPSET** 対象機種

旧 LAN インターフェース設定ツール (IPSET) を使用して LAN 設定が可能な機器は下表の通りです。

分類	型式	販売期間
基板モジュール	TR3-IF-N1	2004年~2015年6月
ショートレンジ	TR3-N001E(B)	2007年~2012年5月
	TR3XM-SN01	2012年5月~2015年6月
	TR3-N001C-8	2005年~2017年3月
ミドルレンジ	TR3-MN001C-8	2005年~2017年3月
	TR3-MN001E-L/S	2005年~2017年3月
ロングレンジ	TR3-LN003D-L/S	2005年4月~2017年3月
	TR3-LN003D-8	2005年~2017年5月
	TR3-LN003GW4LM-L	販売中(※1)
ゲート	TR3-G003	2007年8月~2015年12月
	TR3-G001B	2008年~2013年11月
	TR3-G002	2004年~2009年8月

※1:2018年8月現在

IPSET 対象機種の IP アドレス初期化手順については「2.1 IPSET 対象機種の IP アドレス初期化手順」 を参照ください。

#### 1.2 IPSET2 対象機種

新LANインターフェース設定ツール(IPSET2)を使用してLAN設定が可能な機器は下表の通りです。

	and at the	
分類	型式	販売期間
基板モジュール	TR3-IF-N4	販売中(※1)
ショートレンジ	TR3XM-SN02	販売中(※1)
	TR3-N002C-8	2017年3月~2018年7月
ミドルレンジ	TR3-MN002C-8	2017年3月~2018年7月
	TR3-MN002E-L/S	2017年3月~2018年7月
	TR3X-MN01	販売中(※1)
	TR3X-MN01-8	販売中(※1)
ロングレンジ	TR3X-LN01	販売中(※1)
	TR3X-LDUN01-4	販売中(※1)
	TR3-L4N01-24	販売中(※1)
	(特定顧客向け専用製品)	
ゲート	TR3-G003A	販売中(※1)
	TR3-G004	販売中(※1)
	(特定顧客向け専用製品)	

※1:2018年8月現在

IPSET2 対象機種の IP アドレス初期化手順については「2.2 IPSET2 対象機種の IP アドレス初期化手順」を参照ください。

### 第2章 IPアドレス初期化手順

本章では、IP アドレス初期化の手順について説明します。

#### 2.1 IPSET 対象機種の IP アドレス初期化手順

IPSET 対象機種の IP アドレス初期化手順について説明します。 本手順により、IP アドレスを含む LAN インターフェース設定の全てが出荷時設定に 初期化されます。IPSET 対象機種の出荷時設定については「3.1 IPSET 対象機種のデフォルト設定 と出荷時設定一覧」を参照ください。

※リーダライタの通信速度を「19200bps」以外に設定して使用している場合、LAN インターフェー ス設定の初期化を行うと、LAN インターフェース側だけ通信速度が「19200bps」に初期化される 為、リーダライタモジュールとの間で通信速度が不整合になりリーダライタと通信できなくなる 可能性があります。その場合の症状と復帰方法については「4.2 LAN インターフェース基板の通 信速度を変更する」を参照ください。

#### 2.1.1 IP アドレスが把握できている場合

(1)リーダライタの電源を ON にして、IPSET を起動します。

(2)IPSET のログイン画面が表示されますので、IP アドレスとパスワードを入力して IPSET に ログインします。ログイン方法の詳細は「LAN インターフェース設定ツール IPSET Version3.00 取扱説明書」を参照ください。

LANConfPs		X
	LANインターフェ	ース設定
IP7ドレス:	10 16 77	170 ОК
パスワード:	•••	Cancel
	□ 工場出荷時のパスワー  □ 工場出荷時のIPアドレス	<sup>べ</sup> を利用する。 、 、を利用する。
	<ul> <li>● TR3シリーズ(10.16.7</li> <li>○ TR3XMシリーズ(192</li> </ul>	7.170) .168.0.1)

(3)正常にログインできた場合は、次の画面のように表示されますので、 左側メニューの「初期化」をクリックします。

12	設定一覧	
MACPEUZ	設定内容	設定値
00-03-D1-00-01-FA	Local IP	10.16.77.169
	Mask Address	16
●設定一覧	Local Port	10777
甘十九二	Default Route IP	0.0.0.0
<u> </u>	Keep Alive	有効
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1
	Connection動作	パッシブ・オープン
	Foreign IP	0.0.0
<u>PINGテスト</u>	Foreign Port	3335
設定保存/復元	通信速度	19200bps
	TCP Send Timer(ms)	10
バスワード変更	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0
初期化	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 03	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 04	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 05	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 07	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 08	0.0.0

(4)初期化画面が表示されますので、接続されている機種(TR3シリーズ、TR3XMシリーズ)を 選択し、「初期化」ボタンをクリックします。

	LAN1フターフェース設定
MACアドレス	初期化
00-03-D1-00-01-FA 設定一覧 基本設定 詳細設定	LANインターフェース設定値を工場出荷時の値に初期化します。 IPアドレス、ログインパスワードも工場出荷時の値に初期化され る為、初期化後は再接続が必要です。 初期化対象リーダライタ ●[TR3シリーズ(1016.77.170)] ● TR3XMシリーズ(192.168.0.1)
<u>PINGテスト</u> 設定保存/復元 <u>パスワード変更</u> ●初期化	★ [ 私知期化]
設定終了	

次の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックすると初期化処理が実行されます。

In for ma	ition 🛛 🔀
(j)	初期化します。
	DK キャンセル

初期化処理が完了すると次の画面が表示されて、IPSETは自動的に終了します。

In for mat	tion  🛛
(j)	設定値を更新しました。 再接続を実施ください。
(	ОК

(5)IPSETにて初期化されたことを確認する場合は、IPSETを再度起動してください。 ※リーダライタの IP アドレスは出荷時設定になっていますので、ログイン前に PC の IP アドレスとサブネットマスクを通信可能な状態に設定しておく必要があります。 設定手順については「4.1 PC の IP アドレスを変更する」を参照ください。

- 2.1.2 IP アドレスが把握できていない場合
  - (1)リーダライタの電源をOFFにします。
  - (2)リーダライタの筐体カバーを取り外し、LANインターフェース基板(下図)を確認します。
  - (3)基板上のディップスイッチ(SW1)により設定を行います。 スイッチに表示の番号[1]~[4]において、[2]をOFFに設定します。



- (4)リーダライタの電源を ON にして、IPSET を起動します。 ※電源を ON にした後、LAN インターフェース設定は一時的にデフォルト設定で起動します。 デフォルト設定の内容は「3.1 IPSET 対象機種のデフォルト設定と出荷時設定一覧」を 参照ください。
- (5)IPSET のログイン画面が表示されますので、IP アドレスとパスワードを入力して IPSET に ログインします。ログイン方法の詳細は「LAN インターフェース設定ツール IPSET Version3.00 取扱説明書」を参照ください。
  - ※リーダライタの IP アドレスは「192.168.0.1」になっていますので、ログイン前に PC の IP アドレスとサブネットマスクを通信可能な状態に設定しておく必要があります。 設定手順については「4.1 PC の IP アドレスを変更する」を参照ください。



(6)正常にログインできた場合は、次の画面のように表示されますので、 左側メニューの「初期化」をクリックします。

49	設定一階	
<u>MACアドレス</u>	静定内容	静定值
00-03-D1-00-02-FA	Local IP	192168.01
	Mask Address	24
●設定一覧	Local Port	9004
	Default Route IP	0.0.0
基本設定	Keep Alive	無効
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	60
	Connection動作	パッシブ・オープン
	Foreign IP	0.0.0
PINGテスト	Foreign Port	9004
設定保存/復元	通信速度	9600bps
	TCP Send Timer(ms)	100
バスワード変更	パッシブ・オープン受付許可IP 01	0.0.0
初期化	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 03	0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 05	0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 06	0.0.0
	パッシブ・オープン受付許可IP 07	0.0.0
	パッシブ・オーブン受付許可IP 08	0.0.0

(7)初期化画面が表示されますので、接続されている機種(TR3シリーズ、TR3XMシリーズ)を 選択し、「初期化」ボタンをクリックします。

	LAN1フターフェース設定
MACアドレス	初期化
00-03-D1-00-01-FA 設定一覧 基本設定 詳細設定	LANインターフェース設定値を工場出荷時の値に初期化します。 IPアドレス、ログインパスワードも工場出荷時の値に初期化され る為、初期化後は再接続が必要です。 初期化対象リーダライタ ●[TR3シリーズ(1016.77.170)] ● TR3XMシリーズ(192.168.0.1)
<u>PINGテスト</u> 設定保存/復元 <u>パスワード変更</u> ●初期化	★ [ 私知期化]
設定終了	

次の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックすると初期化処理が実行されます。

Informa	ition 🛛 🔀
(j)	初期化します。
	DK キャンセル

初期化処理が完了すると次の画面が表示されて、IPSETは自動的に終了します。

(j)	設定値を更新しました。 再接続を実施ください。
V	

(8)リーダライタの電源をOFFにします。

- (9) LANインターフェース基板上のディップスイッチ(SW1)を元に戻します。 スイッチに表示の番号[1]~[4]において、[2]をONに設定します。
- (10)IPSETにて初期化されたことを確認する場合は、リーダライタの電源をONにして、 IPSETを再度起動してください。

※リーダライタの IP アドレスは出荷時設定になっていますので、ログイン前に PC の IP アドレスとサブネットマスクを通信可能な状態に設定しておく必要があります。 設定手順については「4.1 PC の IP アドレスを変更する」を参照ください。

#### 2.2 **IPSET2** 対象機種の **IP** アドレス初期化手順

IPSET2 対象機種の IP アドレス初期化手順について説明します。 本手順により、IP アドレスを含む LAN インターフェース設定の全てが出荷時設定に 初期化されます。IPSET2 対象機種の出荷時設定については「3.2 IPSET2 対象機種の出荷時設定 一覧」を参照ください。

ただし、Baud Rate は変更されませんのでご注意ください。

(1)リーダライタの電源を ON にして、IPSET2 を起動します。

IPSET2 を起動すると LAN で接続されているリーダライタを自動で検索し、結果を画面に 表示します。

<接続先(リーダライタの IP アドレス)が表示されない場合>

PC側のファイアウォール設定、ウィルス対策ソフトをご確認ください。
 ファイアウォール機能により、リーダライタとの通信がブロックされている可能性がありますので、ファイアウォール設定を無効にしてお試しください。

- ・PC とリーダライタを1対1で直結した状態(LAN クロスケーブル接続)でお試しください。 多数の機器を接続した環境では探せない場合があります。
- PC に複数の IP アドレスが設定されている場合、異なるネットワークが選択されている可能性があります(無線 LAN と有線 LAN がどちらも有効な場合など)。
   メニューの[Help]-[Interface]から、リーダライタが接続されているネットワークを選択してください。



上記の画面は、検索の結果「IP ADDRESS=192.168.0.1」「MAC ADDRESS=00:20:4A:CB:48:B2」 のリーダライタが接続されていることを表しています。

「STATUS=ON LINE」と表示されている場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定が そのままで PC と通信可能な状態であることを表しています。 このまま、LAN インターフェース設定画面に進むことができます。 「STATUS=OFF LINE」と表示されている場合は、PC 側とリーダライタ側の LAN の設定に 不整合があることを表しています。

このままではLAN インターフェース設定画面に進むことができませんので、PC 側の IP アドレス、サブネットマスクの設定を適切な値に変更してください。

PC-リーダライタ間で通信を行うためには、双方の端末同士で IP アドレスとサブネットマスクを通信可能な状態に設定しておく必要があります。

→PC 側の設定変更方法は「4.1 PC の IP アドレスを変更する」を参照ください。

PC 側の IP アドレスを変更した場合は IPSet2 を再起動してください。

- (2)「STATUS=ON LINE」であることを確認し、以下いずれかの方法で LAN インターフェース 設定画面を開きます。
  - ・一覧の行をダブルクリック
  - ・一覧の行を選択(赤字表示)した状態でキーボードの F2 キーを押下
  - ・一覧の行を選択(赤字表示)した状態で File(F)メニューの「Edit...」をクリック

Ealt	F2	MAC ADDRESS	STATUS
Refresh	F5 6	00-20-4A-CB-48-B2	ONLINE
Local Network(N	)		
Set RW Speed(	(R) ►		
Close(X)			

<LAN インターフェース設定画面> Configuration

MAC ADDRESS	i : 00-20-4/	-CB-4	B-B2		設定の保存			
IP Address:	192	168	0	1	現在の設定をファイルに係	禄存します。	設定保存	Ŧ
MASK Length:	24 🚖	]			ファイルに保存された設定	値を復元します。	設定復分	ī
Default Gateway:	0	0	0	0	設定の初期化 工場出荷時の設定値(2)	初期化します。	初期化	
TCP Keepalive (sec):	10 😂	(0 = di	sabled)					
Serial Setting	-				TCP Connection	-		
Baud Rate(現在):	19200bps				Local Port:	9004 🚖		
Baud Rate(変更):	19200bps	×	🗌 変頁	更する	Active Connect(現在):	None		
Pack Control					Active Connect(変更):	None	- ②変更	する
B 12	0				Remote Host:	0 0	0	0
racking:	Oisable	) Er	nable		Remote Port:	9004 🚔		
Idle Gap Time:	5sec	8	-			1		

## **TAKAYA** Corporation

X

(3)「初期化」ボタンをクリックします。

MAC ADDRESS: 00-20-4A-CB-48-B2         IP Address:       192 168 0         192 168 0       1         MASK Length:       24 全         Default Gateway:       0       0       0         Default Gateway:       0       0       0       0         TCP Keepalive (sec):       10 全       (0 = disable d)       3       3         Serial Setting       19200bps       TCP Connection       10       (0 = disable d)         Baud Rate(現在):       19200bps       ①       2       3       3         Pack Control       19200bps       ①       2       3       3       3         Packing:       ①       ①       ○       0       0       0       0       0         Idle Gap Time:       5       5       5       5       5       3 <td< th=""><th></th><th></th><th></th><th>Netwo</th><th>ork Co</th><th>onfiguration</th><th></th><th></th><th></th><th></th></td<>				Netwo	ork Co	onfiguration				
IP Address:       192 168 0 1       現在の設定をファイルに保存します。       設定の復元         MASK Length:       24 全       ファイルに保存された設定値を復元します。       設定(現元)         Default Gateway:       0 0 0 0       0       設定の初期化       10         TCP Keepalive (sec):       10 全 (0 = disable d)        アイルに保存された設定値を復元します。       設定(現元)         Baud Rate(現在):       19200bps         Implify       Implify         Baud Rate(現在):       19200bps         Implify       Implify         Pack Control          Semial Setting        Implify         Pack ing:       Disable       Enable       Enable       Remote Host:       0 0 0       0         Idle Gap Time:       5sec         9004 全	MAC ADDRESS	i : 00-20-4A	-CB-48	B-B2	-	設定の保存		r		_
MASK Length:       24 美       ファイルに保存された設定値を復元します。       設定復元         Default Gateway:       0 <td>IP Address:</td> <td>192</td> <td>168</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>現在の設定をファイルには</td> <td>私任します。</td> <td></td> <td>設定保存</td> <td>Ŧ</td>	IP Address:	192	168	0	1	現在の設定をファイルには	私任します。		設定保存	Ŧ
Default Gateway:       0       0       0       0       0       0       0       0       10	MASK Length:	24 🚔				ファイルに保存された設定	値を復元します	t. [	設定復分	Ē
TCP Keepalive (sec):       10 ★ (0 = disable d)         Serial Setting       TCP Connection         Baud Rate(現在):       19200bps       Local Port:       9004 ★         Baud Rate(変更):       19200bps       ① 変更する       Active Connect(現在):       None         Pack Control       Remote Host:       0       0       0       0         Packing:       Disable       Enable       Remote Port:       9004 ★	Default Gateway:	0	0	0	0	設定の初期化 工場出荷時の設定値に	初期化します。		初期化	
Serial Setting     TCP Connection       Baud Rate(現在):     19200bps     Local Port:     9004 会       Baud Rate(変更):     19200bps     ② 変更する     Active Connect(現在):     None       Pack Control     Remote Host:     0     0     0       Packing:     O isable     Enable     Remote Port:     9004 会	TCP Keepalive (sec):	10 🚖	(0 = dis	sabled)						_
Baud Rate(現在): 19200bps ↓ Docal Port: 9004 会 Baud Rate(変更): 19200bps ↓ ② 変更する Active Connect(現在): None Pack Control Packing: ◎ Disable ◎ Enable Idle Gap Time: 5sec ↓ Remote Port: 9004 会	Serial Setting	-				TCP Connection	-			
Baud Rate(変更):       19200bps       一変更する       Active Connect(現在):       None         Pack Control       Active Connect(変更):       None       ① ② ② 更する         Pack ing:       ③ Disable       Enable       Remote Host:       0 0 0       0         Idle Gap Time:       5sec       ✓       9004 🚖       ✓	Baud Rate(現在):	19200bps				Local Port:	9004	<b>.</b>		
Pack Control     Active Connect(3(2)):     None       Packing:     Image: Disable     Enable       Idle Gap Time:     5sec	Baud Rate(変更):	19200bps	*	🔲 変頁	೯する	Active Connect(現在):	None	-	同亦百	772
Packing:      Disable      Enable  Idle Gap Time:  Sec	Pack Control					Active Connect(変更):		<u></u>	<u> </u>	90
Idle Gap Time: 5sec	Packing:	Oisable	) En	able		Remote Host:	0	0	0	0
	Idle Gap Time:	5sec	s <del>r</del> aando S	•]		Remote Port:	9004	<b>\$</b>		

次の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックすると初期化処理が実行されます。

Information	x
工場出荷時の設定値に初期化します。 ただし、Baud Rateは変更されません。	
OK キャンセ	ıı

初期化処理が完了すると次の画面が表示されます。

success	
0	設定値を初期化しました。
	ОК

### 第3章 デフォルト設定と出荷時設定

本章では、LAN インターフェースのデフォルト設定と出荷時設定について説明します。

#### 3.1 IPSET 対象機種のデフォルト設定と出荷時設定一覧

IPSET 対象機種の LAN インターフェース設定について、デフォルト設定と出荷時設定の一覧は 下表の通りです。

<TR3 シリーズの場合>

No.	LAN 設定パラメータ	デフォルト設定(※1)	出荷時設定
1	Local IP (リーダライタ)	192.168.0.1	10.16.77.170
2	Mask Address	$24 \ (255.255.255.0)$	$16\ (255.255.0.0)$
3	Local Port	9004	10777
4	Default Route IP	0.0.0.0	0.0.0.0
5	Keep Alive	無効(0)	有効(1)
6	無通信監視タイマ値(min)	60	1
7	Connection 動作	パッシブ・オープン	アクティブ・オープン
8	Foreign IP(上位機器)	0.0.0.0	10.16.77.171
9	Foreign Port	9004	3335
10	通信速度	9600	19200
11	TCP Send Timer(ms)	100	10
12	パッシブ・オープン受付許可 IP01	0.0.0.0	0.0.0.0
13	パッシブ・オープン受付許可 IP02	0.0.0.0	0.0.0.0
14	パッシブ・オープン受付許可 IP03	0.0.0.0	0.0.0.0
15	パッシブ・オープン受付許可 IP04	0.0.0.0	0.0.0.0
16	パッシブ・オープン受付許可 IP05	0.0.0.0	0.0.0.0
17	パッシブ・オープン受付許可 IP06	0.0.0.0	0.0.0.0
18	パッシブ・オープン受付許可 IP07	0.0.0.0	0.0.0
19	パッシブ・オープン受付許可 IP08	0.0.0.0	0.0.0.0

※1:SW1の[2]をOFFに設定して起動した場合の設定値

<TR3XM シリーズの場合>

No.	LAN 設定パラメータ	デフォルト設定(※1)	出荷時設定
1	Local IP(リーダライタ)	192.168.0.1	192.168.0.1
2	Mask Address	$24 \ (255.255.255.0)$	$24 \ (255.255.255.0)$
3	Local Port	9004	9004
4	Default Route IP	0.0.0.0	0.0.0.0
5	Keep Alive	無効(0)	有効(1)
6	無通信監視タイマ値(min)	60	1
7	Connection 動作	パッシブ・オープン	アクティブ・オープン
8	Foreign IP(上位機器)	0.0.0.0	0.0.0.0
9	Foreign Port	9004	9004
10	通信速度	9600	19200
11	TCP Send Timer(ms)	100	10
12	パッシブ・オープン受付許可 IP01	0.0.0.0	0.0.0.0
13	パッシブ・オープン受付許可 IP02	0.0.0.0	0.0.0.0
14	パッシブ・オープン受付許可 IP03	0.0.0.0	0.0.0.0
15	パッシブ・オープン受付許可 IP04	0.0.0.0	0.0.0.0
16	パッシブ・オープン受付許可 IP05	0.0.0.0	0.0.0.0
17	パッシブ・オープン受付許可 IP06	0.0.0.0	0.0.0.0
18	パッシブ・オープン受付許可 IP07	0.0.0.0	0.0.0.0
19	パッシブ・オープン受付許可 IP08	0.0.0.0	0.0.0.0

※1:SW1の[2]をOFFに設定して起動した場合の設定値

#### 3.2 IPSET2 対象機種の出荷時設定一覧

IPSET2 対象機種の LAN インターフェース設定について、出荷時設定の一覧は下表の通りです。

No.	LAN 設定パラメータ	出荷時設定
1	IP Address(リーダライタ)	192.168.0.1
2	Mask Length	$24 \ (255.255.255.0)$
3	Default Gateway	0.0.0.0
4	TCP Keepalive(sec)	10
5	Baud Rate	19200 bps
6	Packing	Disable
7	Idle Gap Time	5sec
8	Local Port	9004
9	Active Connect	None
10	Remote Host(上位機器)	0.0.0.0
11	Remote Port	9004

### 第4章 付録

#### 4.1 PCのIPアドレスを変更する

PC-リーダライタ間で通信を行うためには、双方の端末同士で IP アドレスとサブネットマスクを 通信可能な状態に設定しておく必要があります。

本項では、リーダライタの IP アドレスとサブネットマスクが以下の設定であるケースを例に、PC 側の設定変更手順を説明します。

リーダライタの IP アドレス: 192.168.0.1
 リーダライタのサブネットマスク: 255.255.255.0(マスク長:24 ビット)

(1)イーサネットのプロパティを開く

「ネットワークと共有センター」画面から「イーサネット」をクリックして、「イーサネットのプロパティ」を開きます。

墅 コントロール パネル¥すべてのコントローノ	レパネル項目¥ネットワークと共有センター ー ロ ン	×
🗧 אין	(ネル » すべてのコントロールパネル項目 » ネットワークと共有センター 🛛 🗸 コントロール パネルの検索	ρ
コントロール パネル ホーム	基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ	
アダプターの設定の変更	アクティブなネットワークの表示	
共有の詳細設定の変更	ad.takaya.co.jp     アクセスの種類: インターネット       ドメインネットワーク     接続: 単 イーサネット	
	ネットワーク設定の変更	
関連項目	新しい接続またはネットワークのセットアップ ブロードバンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイントをセ ットアップします。	
Windows Defender ファイアウォー ル インターネット オプション 赤外線	■ 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。	

「イーサネットのプロパティ」画面が開きますので、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」のプロパティを開きます。

🚇 イーサネットのプロパティ	×
ネットワーク 共有	
接続の方法:	
👳 Realtek PCle GBE Family Controller	
構成(C) この接続は次の項目を使用します(O):	
<ul> <li>✓ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント</li> <li>✓ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとブリンター共有</li> <li>✓ ■ QoS パケット スケジューラ</li> <li>✓ ■ インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)</li> <li>■ Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol</li> <li>✓ ■ Microsoft LLDP プロトコル ドライパー</li> <li>✓ ■ インターネット プロトコル パージョン 6 (TCP/IPv6)</li> </ul>	~
インストール(N) 削除(U) プロパティ(R)	
説明 伝送制御ブロトコル/インターネット ブロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク ブロト: ルです。	) 711,
	en

(2)IP アドレスとサブネットマスクを入力する
 IP アドレス入力欄に「192.168.0.10」を入力します。
 サブネットマスク入力欄に「255.255.255.0」を入力します。

インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ X								
全般								
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせて ください。								
○ IP アドレスを自動的に取得する(O)								
● 次の IP アドレスを使う(S):								
IP アドレス(I):	192 . 168 . 0 . 10							
サブネット マスク(U):	255 . 255 . 255 . 0							
デフォルト ゲートウェイ(D):	· · ·							
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	する(B)							
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):								
優先 DNS サーバー(P):								
代替 DNS サーバー(A):								
□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(V)							
	OK キャンセル							

[OK]ボタンをクリックすることで入力した設定値が反映されます。

 PCにIPアドレス「192.168.0.10」を割り当てた理由 IPv4ネットワークでは、全32ビットのIPアドレスをネットワークアドレスとホストア ドレスに分割して管理しています。
 同一のネットワークアドレスを持つ端末同士によって一つのネットワークが構成され、特定のネットワーク内に属する端末同士は一意に割り当てられたホストアドレスによって 識別されます。

本項記載の設定例では、リーダライタのサブネットマスクを「255.255.255.0」と定義して いますが、この定義は IP アドレスの前半 24 ビットをネットワークアドレス、後半 8 ビッ トをホストアドレスとすることを示しており、そのため前半 24 ビット(ネットワークア ドレス)が等しく、且つ後半 8 ビット(ホストアドレス)が異なる「192.168.0.10」の IP アドレスを PC 側に割り当てています。

リーダライタの IP アドレス 192.168.0.1
 PC の IP アドレス 192.168.0.10

#### 4.2 LAN インターフェース基板の通信速度を変更する

リーダライタ内部の LAN インターフェース基板-リーダライタモジュール間の通信速度 (Baud Rate)が一致している場合に正常な通信が可能となります。



LAN インターフェース基板-リーダライタモジュール間の通信速度が不整合になっている場合、 ユーティリティツール「TR3RWManager」を起動してリーダライタとの通信を開始するときに 次の画面のように表示されます。

(※PC およびリーダライタの IP アドレスと TCP ポート番号が合っている場合)

TR3RWManager		-	
ファイル(F) リーダライタ制御コマンド(R) リーダライタ設定コマンド(Q) RFタグ通信コマンド(T) リーダライタEEPROM設定(E)	通信設定(C) ヘルプ(H)		
<mark>リーダライタ動作モード 通信できません</mark> 設定ダイアログ_ ReadBytes/WriteBytes	インターフェース設定	192.168.0.1	9004
コマンド 連続インパンドリ RDL00P オートスキャン ReadBytes_ WriteBytes_		データクリア	(F9)
受信データー覧 送受信ログ			
04/09 16:20:27.779 [cmt] /* コネクションの確立 */			
04/09 16:20:28.295 [cmt] <u>コネッションの確立に成功のないた。</u> 04/09 16:20:28.295 [cmt] IPアドレス : 192.168.0.1			
04/09 16:20:28.295 [cmt] ポート番号 : 9004			
04/09 16:20:28.295 Lomt] /* ROMバージョンの読み取り */			
04/03 16:20:28:283 [sena] 02 00 4+0 90 03 c5:000  04/09 16:20:33:311 [recv] リーダライタは無応答です <u>。</u>			

このように、LAN インターフェース基板-リーダライタモジュール間の通信速度が不整合になり リーダライタと通信できなくなった場合の復帰方法は以下になります。

#### 4.2.1 IPSET 対象機種の場合

(1)リーダライタの電源を ON にして、IPSET を起動します。

(2)IPSET のログイン画面が表示されますので、IP アドレスとパスワードを入力して IPSET に ログインします。ログイン方法の詳細は「LAN インターフェース設定ツール IPSET Version3.00 取扱説明書」を参照ください。

ANConfPs	W				(
	E	ANTO	ゆーフ	エース設定	Ē
IP7ドレス:	10	16	77	170	ОК
パスワード:		s.			Cancel
	□ 工場出荷時のパスワードを利用する。 □ 工場出荷時のIPアドレスを利用する。				
	Г () С Т	R3DU- R3XMD	·ズ(10.1) リーズ(1	6.77.170) 92.168.0.1)	

(3)正常にログインできた場合は、次の画面のように表示されますので、 左側メニューの「詳細設定」をクリックします。

11.	設定一覧		
<u></u>	静定内容	静定值	
00-03-D1-00-02-FA	Local IP	101677170	
	Mask Address	16	
●設定一覧	Local Port	10777	
** 1 =0**	Default Route IP	0.0.0	
基本設定	Keep Alive	有効	
詳細設定	無通信監視タイマ値(min)	1	
	Connection動作	パッシブ・オープン	
	Foreign IP	0.0.0	
<u>PINGテスト</u> 設定保存/復元	Foreign Port	3335	
	通信速度	19200bps	
	TCP Send Timer(ms)	10	
バスワート変更	パッシブ・オーブン受付許可IP 01	0.0.0	
初期化	パッシブ・オープン受付許可IP 02	0.0.0.0	
	パッシブ・オーブン受付許可IP 03	0.0.0	
	パッシブ・オープン受付許可IP 04	0.0.0	
	パッシブ・オーブン受付許可IP 05	0.0.0	
	パッシブ・オーブン受付許可IP 06	0.0.0	
	パッシブ・オーブン受付許可IP 07	0.0.0	
	パッシブ・オーブン受付許可IP 08	0.0.0	

(4)リーダライタモジュールの通信速度と同じになるように通信速度を変更して、「設定」ボタンを クリックします。

			Same In Cold States	_		
MACアドレス	詳細語	役定				_
03-D1-00-02-FA	Conn	ection動作——				
	⊙ /S	● パッシブ・オープン     ホストからリーダき     してコネクション?		ノーダライ ションを行	ライタのIPアドレスを指定 を行います。	
設定一覧	07	クティブ・オープン	リーダライタ して自動的	からホス	トのIPア	*レスを指定 ういます。
<u>基本設定</u> ●詳細設定	F	oreign IP:	0	0	0	0
	F	Foreign Port: 3335 📚				
PINGTAL	通信返	腹:			192005	ps 🔽
設定保存/復元	LAN	インターフェースとリ·	-೫ライタモジ	ュール間	の通信調	を度です。
	TCP Send Timer(ms): 10 📚					
	TOP	TCP Segmentの送信タイミングです。				
初期化	パッシン	"オーブン受付許	σŢIP		C	編集
	IP01	0.0.0.0	IP	05 0	0.0.0.0	
	IP02	0.0.0.0	IP	06 0	0.0.0	
	TP03	0.0.0.0	IP	07 0	0.0.0	
	1.00	1.50 20 20 20 Per				

以上の手順で LAN インターフェース基板-リーダライタモジュール間の通信速度が一致します。

#### 4.2.2 IPSET2 対象機種の場合

(1)リーダライタの電源を ON にして、IPSET2 を起動します。

(2)IPSet2 を起動後、File(F)メニューの[Set RW Speed(R)]を選択し、変更したい Baud Rate (9600bps、19.2kbps、38.4kbps)を選択します。

Edit	F2	MAC ADDRESS	STATUS
Refresh	F5	00-20-4A-CB-48-B2	ONLINE
Local Network(N).			
Set RW Speed(F	l) →	9600bps	
Close(X)		19.2kbps	

(3) IP アドレス/ポート番号を設定し[OK]ボタンを押下します。 本操作により、リーダライタモジュール側、LAN インターフェース基板側それぞれの通信速度を 同時に変更します。

	Net	work C	onfigur	ation	
IP Address:	192	168	0	1	ОК
Port:	90	04 🜲			Cancel

以上の手順で LAN インターフェース基板-リーダライタモジュール間の通信速度が一致します。

### 変更履歴

Ver No	日付	内容
1.00	2018/9/3	新規作成

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部 [URL] http://www.takaya.co.jp/ [Mail] rfid@takaya.co.jp

仕様については、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。